〔昭和三年三月二十二日第三種郵便物認可〕

夕刊　磐城新聞

六月三十日發行

日曜祭日翌日休刊

澤村公遺德 (8)

神谷小學校

偶々山嘴の洞に掘り當てたところ其の數數千と稱せられた多くの蛇が出た。人夫共の驚きは一通りではなく再び之を續けることを拒んだ。『これではならぬ』と勝爲はその蛇を俵に入れ横山台に埋め蛇塚を造り更に己巳供養塔を建て守本尊大日堂を建立し五石の除地を附けた。其れより丸山、松川の山際を掘り通し字大屋の山際を過ぎ又々横山下の山際より君が澤、更に君が澤より水ぬきの水門二間拂ひを過ぎ上平久保藥師前までは大岩石であつて工事は意の如く捗らなかつた。それより上平久保の門、字まねい作の惡水吐きの水門を建てた(之は二門拂水門之より西間の定番あり、五寸幅の板にて用ひ此の所に箱筒あり敷二枚脫板一枚宛)此の水門よりの灌漑は七町八反餘高台田有此の定番を建て用水に定數を極め置きこの下に二間の手ぶち水門を造りたて作に水を拂ひ更に辰の口に三間の水門を構へ中平久保薄張迄は川幅三間、又下平久保中鹽に幅五間高さ一間の切通しを造る。更に是より中鹽、村澤に三間の水門、更に四波澤に拂水門を造る、幅三間是より鯨岡村岸を掘り鎌田の門、銅山林の岸を掘り通して顯巌通りの岩を切り(長さ七間高さ一間)洞を掘り上神谷作の入りに惡水拂一間の水門を建て是より下荷水作に惡水拂水門二間を構へ更に下字かな澤地藏に大岩にて長さ七間、高さ一間の切通しをなし(今は岩落ち通るべからず)是より字石脇に長さ五間、高さ一間の切通しを造る。又是より下神谷東浦を過ぎ泉崎京塚迄は山岸、下片寄請込までは上へ掘り登せ此所に請込堰長さ四間を土俵で積み上げ是より志多田前に掘下げて馬目村張まで山岸を掘り此所に二間の惡水吐水門を建てた。更に八幡下まで岸を下げ又倉柱から絹谷砂利間の水門まで山岸を上へ掘り登せ此所に絹谷作惡水門二間を造り次いで北神谷天福寺前へ登せ是より北神谷大森村月田寺前から更に字小屋を過ぎ名木村へ掘通し此處から長友村まで掛江筋とした。名木及び狐塚村用水堀の下を通して底筒を造つた(長さ五間幅一間)。是より長友前の廣土中を掘下げ戸田川江へ掛樋をかけ戸田川に落し此處に堰を設け長さ三十九間の山岸を切通し上仁井田、四倉村迄三町餘であつた

弔加納五郎翁

珠雲　小野務本

鄕閭奇傑盛名宣
操志淸貞晚節全
惆悵斯翁捐館早
騎龍一去隔人天

稚兒百合

上原清

息子が
死んで
子が死んで
母親は
泣く〳〵
山へ行た
山にや
墓場
土まんぢゆう
白い
稚兒百合
咲いてたげ
息子が
死んで
氣が狂つて
母親は
泣き〳〵
百合摘んだ

六月題詠 (五)

新妻久滿男選

『雲』　村瀨かつみ

○夜釣する沼面靜かに流れゆく、雲美しく水にうつりて

評　一首のまとまりがはつきりつかない歌である。下の句全体と夜釣は何うも受け入れ難い。

○夏草に宿れる露の滑らかに、雲間の月のかすかに照るも

平凡な歌になつてゐるのは何故か、作者の一考を望む

○明け時の月の光のうすれつゝ、夏草の露のみ光りかゞやく

何うも見方が少々違つてゐる樣である。上の句との關連上下の句は再考すべきである。一首說明的にことわることはいけない事である

○二つ矢の峯にかゝれる夏雲の、默々として怒濤の如し

面白い歌であるが、下の句おしい事に稍々說明的におちた

○雲間漏る月の明りに砂濱の、ゑんどうの花露にぬれ居り

一寸考へるに佳い歌になる。兎に角この歌ならば私は喜んでいたゞける。作者は立派な歌を作れるのにも不拘前四首の樣な歌を詠むのは何ういふわけか考へて欲しい

佐渡、伊香保へ　上

渡邊何鳴

六月十六日旅立つ

夏旅にいでむと思ひあはたゞし

磐梯山麓

磐梯のふもとのさとの植田かな

六月の雪渣のこれる嶺かな

磐梯のいたゞき夏の雲まとふ

夏高原防雪林の標立てり

阿賀川に沿ふて

夏木むらなだれて阿賀の深となる

阿賀川さつきにごりと言ひつべし

老鶯の聲かとおもふきゝそれし

時鳥桐の林に來啼かむか

新潟に一泊

青柳にふれて行く人うつくしき

青柳にかくれし人をかへりみる

ながれあり橋あり柳青みつゝ

青柳はネオンの星をちりばめぬ

夏潮にたゞよふ佐渡をみはるかす

夏潮や蒼茫として佐渡の山

六月十七日おけさ丸にて佐渡へ

佐渡はまだめざめず夏の海暁けぬ

夏の海暁のひかりをたゝね澄む

蒼茫と佐渡は見ゆ來ず夏の海

夏潮のこの紺靑をわすれめや

夏潮の紺をはなれて飛魚とべり

殘雪の佐渡の島山まのあたり

小說　高橋是淸 (53)

松浦泉三郎作　佐々木今朝吉畫

桑港・オークランド(三)

三日目の朝、ヴアンドリー老人が和喜次の部屋をノックして

『午後一條さんと自分の役所まで來るやうに……』

言殘して出て行つた

一條十次郎を誘つて指定された役所を訪ね當てゝ見ると、ヴアンドリー公證役場——の看板がかゝつてゐた。和喜次は老人が公證人である事を、この時始めて知つた

扉を叩くと

『入つて宜敷い』

老人の皺枯れた聲が聞えて、扉が內側に開かれた。入つた途端

(あ、さうだつたのか)

と、和喜次は思ひ當つた

老人と並んでブラウンがゐた。微笑して和喜次へ禮を返した

ヴアンドリー老人は、折鞄をさぐつて、一葉の書類を探すと、一條の前へ笑ひながら出して

『ワキジーがブラウン家へ同家人として移るため一札ホンの一札です。貴男も署名して欲しいのです』

『ホ、ウ!』

一條は驚いたやうに

『そんな事にまで證書の屆出でが必要なのですか!』

目を見張つて訊いた

『左樣。アメリカは法律國です。然しこれはホンの形式です。詳しくは內容をお讀み下さい』

『拜見します』

一條は書類を手にして熟心に讀み出した。少からず難解な文字が連ねてあるらしかつた。幾度か首をかしげたり、眉を顰めたりしてゐたが、やがて

『判りました』

『では署名を』

『承知しました』

言つて、ペンを借りると亂暴な文字で署名した

『ワキジー。お前も』

和喜次は、無論躊躇なく一條の署名と並べて、ペンを走らせて老人の手許へ返した

『これで宜敷い、ブラウンさんによくお禮を……』

老人に言れて、和喜次は改めてブラウンに、丁寧に頭を下げた

ブラウンは大きく頷いた

表へ出て和喜次が

『何の證文です?』

訊くと、一條が頭を振い

『俺にも判らんのだ』

と、笑つた

『判らん……?』

『判らんのだ。なんせ、俺は最近佛學から英學にうつつたばかりだからな。どんと讀めん』

『而し……』

『あれは讀む眞似をしたゞけなのだ。オークランド。ブラウン。住込み。三年間そんな文字だけがちよい〳〵讀めただけで、あとはまるで、馴染のない文字ばかりだつた。判らん〳〵』

『亂暴ですな』

『怒るな〳〵。然し考へても見るがいゝ。判らん筈はない。さう言ひたげな、あの、ヴアンドリーと言ふ親父の面を見ると、讀めぬとは言へんではないか。言へば我々留學の徒の恥辱だ俺はさう思つたから、成程!と言つたやうた顏で署名したまでの事だ』

『……』

『高橋、氣になるか?心配なら戾つて取消して來てもいゝぞ』

『いゝ、宜敷いです。間違つてもたいした事はないでせう』

紺碧に晴れた、オークランドの快適な空を思ひ浮べ和喜次が笑ひながら言ふと一條も、

『さうだ。たいした事は萬あるまいよ。然し驚いたなこんな事は初めてだ。あツはツはツ……』

腹をゆすつて哄笑した

然し矢張り『たいした事』なしには濟まなかつたのである

耳鼻咽喉科專門
平町田町(電六九一)
病室完備
自炊ノ便アリ
山內醫院
醫學士　山內亨吉

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野憲次
日本齒科醫學士　西川誠
(見習看護婦募集)
平町田町(松月堂向ヒ)電話五〇九番

今夏の特選生地
羅紗界最高峯
Refinetex
リフアインテツクス
パームビーチ
ビスコース
リフアインボーラー
ボーラー
フレスコ
テレクトラー
トロピカルスーチング
シルクレツクス
スワローリネン
各種
御報參上
大崎屋洋服店
平銀座　電96

夜間診療
胃腸性病
內科　胃腸病科
花柳病科　性病科　皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇一七番)
(見習看護婦募集)

これから暑くなつて參りますと胃腸を害ね、お通じの具合が惡くなつて或は下痢をしたり、或は三日も四日便通がなくて頭痛を覺える御方はキキメの早い
靈効散　胃腸藥　を御試し下さい
胃腸病。心臟病。腦。痔。適應藥
三年、五年と患ふ慢性病胃腸病が全快した人が澤山あります。御望みの方には見本藥一日分を差上ますから御遠慮なく御來局下さい。
平町古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四四番　振替口座東京三〇〇六五番
定價　五十錢 八日分　壹圓 廿日分
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

公社債株式現物賣買
照山株式平支店
主任　常盤光威
福島縣平町田町五
振替東京八八一六三番
電話四十六番

小店員募集(十五、六才)
委細面談

お醬油は……ヤマフル
味噌　醬油
たひら正宗
鰹節　食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番 本店二七番)
明治生命磐城代理店　山崎與三郞

石城酒造組合主催　唎酒會
(優等入選)
白馬の雪
辰の口本店
平窪村(電話平二八五番)
販賣店
平町三丁目(電話五六番)

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

國はニツポン。魚は凍魚
日本水產特約
御小賣　平製氷會社　電二二八・三二六番
鯛　ヒゞ　白魚　カサゴ
銀鯛　甘鯛　甲イカ　鰙
北寄貝　帆立貝　目抜切身　うに貝柱
ピンマル凍魚
武藏屋 四丁目
ト印魚問屋　電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

內臟外科一般
外科花柳病科
(入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三一〇九

吸入用酸素
度量衡　計量器
モノサシ　マス　ハカリ
體溫器　寒暖計
◎秤ノ取扱・錘ノ修繕・度量衡・修復致シマス
關內藥局
電話四〇番

ウワツハツハツハー
生の旨さを知らずにビールを語るなんて?
例年の通り生ビール賣出し
キリンビール仙臺工場直送
……(每日午後三時着荷)……
洋食は
平會館

退職積立金に就て 斤先鑛山が除外陳情
當局も諒として考慮

退職積立金法の實施に當り斤先鑛山が問題となつてゐる折から磐城、入山、大日本、福島、第二磐城の大炭鑛業者で組織せる常磐石炭鑛業會では淸宮一郎氏等三名を代表に此程仙臺鑛山監督局に對し鑛業法一部改正若しくは斤先鑛山を退職積立金法の適用より除外する樣陳情する所あつた

即ち磐城地方には鑛夫五十人以上を使役する斤先鑛山が山添、小野田、神奈川、石坂、壽、高階の六鑛山あり、全部で八百六十九人の鑛夫を擁し石炭年產十三萬一千瓲を出して居り今回の退職積立金法が適用されることになつてゐるが斤先鑛山なるものは鑛業法上認められず隨つて若し斤先權者の過怠により退職積立金に違反する樣なことがあつて直接の違反者たる斤先權者は罰せられず鑛業法による該鑛區の鑛業權者が一年以下の禁錮若しくは三千圓以下の罰金を課せられるので不在地主たる鑛業權者にとつては甚だ迷惑なことであり、よつて退職積立金法の第二條第二項を適用して斤先鑛山を本法より除外するか、或ひは鑛業法を一部改正し斤先權を確立しこれにより積立金法は不在地主たる鑛業權者ではなく直接の業者たる斤先權者に適用して貰ひたいといふのであるが仙鑛局でもその意を諒とし今回の鑛監局長會議において右二案中鑛業法一部改正を問題とすることになつた

內郷二川 改修陳情

內郷村白水川並に宮川の改修は既報の如く地元で猛運動を起してゐたが愈よ施工の可能性も見えて來たので更に臨時縣會前に陳情する事となつた

高木校長受講

永戸村合戸小學校長高木徳良氏は今三十日から來月五日迄若松聯隊で開かれる青年學校軍事教育の講習を受ける

。。。。寺方橋架替　磐崎村藤原地内の藤原川にかゝる寺方橋は工費五百圓で湯本町渡邊長作氏が請負ひ來月下旬頃着工する

石城消防共濟會生る
きのふ組頭會で決定

平署管內消防組頭會は昨二十九日午後一時から同署會議室に開き昨報議案を附議した上評議員二名は遠藤豊間組頭外五名の詮衡委員をあげた結果井上茂作（平）伊坂千代松（湯本）の兩組頭に決定した尙同署管內の消防組員並に平署員約四千二百名から石城消防共濟會を組織し無火災表彰規定も新に制定された、これらは何れも明年度から實施される

磐崎村助役
佐藤八郎氏に決る

磐崎村では二十八日午前九時から前助役酒井賢吾氏任期滿了による後任助役推薦村會を開いた結果元收入役佐藤八郎氏に決定した

バス騷動
柴田署長の肝いりで 紛糾四日、圓滿解決！
きのふ車輛制限、運轉時刻等協定 但し料金は二十錢に還元

各營業者の感情問題から交通上の危險を憂慮されてゐた平—湯本間乘合自動車の料金値下げ競爭に關し平署では昨報の如く昨二十九日午前十時から同區間の五營業者を招き柴田署長が種々圓滿解決に奔走した結果、營業者側も漸く納得し

一、車輛數は當初規程の通り十八輛とし平町は四丁目四倉合同車庫跡、湯本町は驛前の停留所に各九輛を配置する事

一、兩停留所には夫々一名の操車係を置き車はその指揮に從つて運轉する事

一、運轉は午前六時から七分毎に各營業者間で順位を定めて開始し同八時終了する事

以上三點を申し合せて無事解決するに至り、從つて料金も以前の『片道二十錢』に還元された——去る二十六日突然出現した『十錢バス』で地方自動車界に少らぬ衝動を與へた前記『自動車騷動』も柴田署長の肝煎りにより僅か四日目で急速解決を見たわけである

解決から統制へ— 合同經營促進
來月十一日具体案協議

漸く以前のコースにたち戻つた前記區間の乘合統制に關し同署では直にこれが合同經營の歩を進める事となり來月十一日再び營業者を招きこれが出資其他に關し具体的の協議を行ふ事となつた、右に關し同署當局では語る

從來は規程の車輛數も超過してゐた程で、それに發車時刻が協定されてゐなかつた丈けに同時刻に發車して客取りの競爭も相當はげしかつたが今後は絶對にない、若しこれに違反した場合は嚴罰で臨む方針だ、合同經營の前提として圓滿解決を見たのは何よりの事である

鯛の豐漁だ！
四倉、小名兩濱に ◇……ドット歡聲

小名濱大敷網は二十六、七と二日間に大鯛四千貫四倉大敷網でも二十七日大鯛二千貫を水揚げしたので不漁に泣いてゐた當業者は一時に歡聲を擧げ、たが相場は二十五割から三十割で東京方面に出荷ししばらく振りで活氣を呈した

誘拐魔に 懲役二年
けふ平支部の判決

淪落の淵にある無智の女を欺き狡猾の周旋屋をすら戸籍抄本で巧みにも騙し四百圓を詐取した稀代の誘拐魔埼玉縣兒玉郡賀美村生れ前科六犯淸水五郎（三）に係る營利誘拐、詐欺事件は今三十日午前十時から平支部で中島裁判長係り香西、野木兩判事陪席、氏家檢事關與公判開廷、求刑通り懲役二年を言渡された

匡救工事で施工せよ
入遠野の道路陳情內容

入遠野村では昨報の如く同村大平地內約二キロに亘る縣道の改修方を平土木監督所に陳情したが同區間は幅員も狹少な上に坂路な爲車馬の行通もに極めて不便で同區間の未改修の爲折角去る七年度から四ケ年繼續で行つた一部改修地も充分利用出來ぬ有樣であり尙同村方部は打ち續く冷害と被害四萬圓にも上つた昨秋の豪雨で村民は今秋の收穫期迄生活にも苦しむ程なので是非匡救工事として施工されるやうに更に同所を通じ縣知事にも陳情する事となつたと

被害何と三千圓
白萩の白鼠送檢

平町研町白萩酒店の白鼠—喜多方町天滿前生れ佐藤三郎（三）は平署で取調べの結果、昨年四月頃から去月中旬頃迄酒、醬油一回三十圓位づゝ前後三百件、この被害三千餘圓に上つてゐる事判明、兩三日中送檢される

ぐづゝく天候に 病魔いよ〱跳梁
隔離者六名に上る

ぐづゝいてゐる昨今の天候に病魔の跳梁は愈よはげしくなり昨二十九日は平町研町相澤政勝（三）君が赤痢と決定隔離された、一時は二た月近くもガラ空だつたものが最近益々增加の傾向にあつて現在隔離者はこれで六名に上つたので町では昨二十九日から看護婦一名を增員した

。。。。現代青年氣質
憂鬱な農村を嫌ひ 東京に上つたが？

大野村玉山農馬山喜一郎（三）夏井村字山崎農鈴木壽勇（八）同草野村農馬上房一（三）の三人は憂鬱な農村生活を嫌つて上京一旗擧げようと去る二十日しめし合せて家出、途中平町で『東京は生馬の目を拔くといふ恐ろしい處だから』と聞かされ護身用にと匕首を買つて上京、就職口を探したが身許保證人がないのでどうにもならず郷里が懷しくなつてトボ〱引きかへし二十八日夜茨城縣猿島郡新郷村中田地先の大利根橋を歩いてゐた處を擧動不審で古河署員に調べられたが懷中に前記の物騷なものを持つてゐたので目下同署に厄介になつてゐる

深夜の騷動

二十八日深更平町南町飲食店常陸屋方軒先の電柱に通りかゝつたトラックがひつかけそのまゝ逃走、これが爲同家の電燈が消えてしまつた眞の暗やみに乘じ何者かゞ侵入、店先にあつたビール、ラムネ數本を掻つ拂つて逃走したがトラックは廣野方面のものらしく屆け出により平署ではこの不埒トラックとビール泥の搜査に當つてゐる

本社振替貯金口座加入　新聞代及廣告料等の御拂込みに御利用下さい　東京　一〇八、五六五　磐城新聞社

三十男家出

大阪市浪速區元町二丁目鏑木松三郎長男市太郎（二九）は昨年十一月十三日家出したまゝ行方知れず監禁されてゐるらしいからと懸賞金五十圓で松三郎から平署に搜索願

生活苦の甥殺しに 執行猶豫の恩典
下手人の女房涙で退廷

生活苦から懊惱の末母子心中をはかり子を絞殺して己れは三度の自殺も果さず遂に殺人罪に問はれた內郷村宮字瀧五六仕立職乘古着依託販賣業乘吉妻平町長橋町生れ薄井シン（四九）の判決公判は今三十日午前十時半別項淸水五郎の公判に引續き中島裁判長係り香西、野木兩判事陪席、氏家檢事關與松野尾（官選）辯護士立會の下に開廷された、保釋出所中のシンは隣人達に伴はれて出廷、裁判長は求刑三年に對し懲役二年但し三年間の執行を猶豫する旨を述べそれに關し諄々當局と隣人の同情を說明、終つて今後の更生と亡裕並にその父孝一（シンの實弟）の冥福を祈るべきを訓し滿廷を感激せしめ、シンは再び隣人逹に劬はれ感激の涙に咽びながら引き退つた

忘れちやいやよの レコードは御法度
平署で押收二十枚

いま全盛の流行歌『忘れちやいやよ』は風紀を紊すものとしてカフエー等でのレコード演奏はダンゼン禁止されたので平署でも昨二十九日管內の此種營業者を洗つた結果二十餘枚を押收した

拈華微笑（今日の問題）

平—湯本間の乘合自動車業者間に於ける料金値下げの相剋異變は、關係範圍が極めて廣汎に亘る最も大衆的の問題として少からず各方面の關心を唆つたが、抗爭僅かに數日當局の調停によつて他愛も無く解決したホンの瞬間のスパークは大向をして餘りの呆氣なさに一種の張り合ひ拔けを感ぜしめた事が夥しい

×

吾人は强ち事の紛糾を望むものでは無いが業者間に描かれた今回の波紋は、旋て近き將來に於て適種生存の人爲陶太を促進するものとして其間少からず期待を繋いだのであつた蓋し最近に於ける自動車の運轉狀態が甚だしく無統制にして横暴、利用者をして常に憤懣を招ぐの狀態に在つたからである

×

一例を擧げると途中無理な客拾ひをする爲に緩急其度を失した速度を以て、客をして或はその徐行に焦慮せしめ、或は反對に劣等車の超速力に兢々せしめ、更に終驛前に於ける悠長な客待ちに時間を空費するなど不都合は殆ど數ふべからざるものがある

×

恁うした關係から之の騷ぎに因る料金の低下は萬人の双手を擧げて歡迎した處であり、その結果假令料金の半減は望まれぬにせよ片道十五錢位にはなるであらうとの豫想を裏ぎつて以前の二十錢に還元した事は眞に意外と云はねばならない

×

業者間の共榮依存上料金の復活は尙は忍ぶべしとするも、たゞ此際心配に堪へぬのは以前の無統制而して横暴への逆轉である。吾人は今回の調停に關する當局の手際如何を云爲するものではないが、利用者としては須く前記の弊害を根柢から除去して欲しいと念願するものである

天氣豫報（小名濱測候所觀測）

今晩も明日も北の風曇時々雨

。。。。落磐　內郷村宮採炭夫大須賀義忠（四〇）は二十七日午後四時頃磐炭町田坑內で作業中落磐重傷死

。。。。佐藤君入團　磐崎村馬玉佐藤勝秋君は横須賀海兵團に入團を命ぜられ二十九日出發した

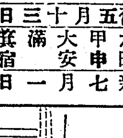
電話

至急讓り受け度し（姓名在社）

一日（小名濱測候所發表）

日出 四、二四　月出後 三、五六
日沒 六、五七　月沒前 一、〇六
滿潮後 三、四五　干潮前 八、〇〇 後 七、四〇

舊五月十三日　水曜　甲申　大安　滿　箕宿　新七月一日



諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白 怠らず內事に勉むれば福祿自ら加り來る▲二黑 幸運のめは次第にのび實を結ぶ基となる▲三碧 足元に氣を付けず小石につまづく如き險惡の日▲四綠 一通りの苦勞にては濟まぬ日自重が一▲五黃 急功を望まず永遠の福利を思ひ計畫すべし▲六白 我意を張る事なく他の言に從ふが得策▲七赤 無理を爲す時は後日に至り大なる反動來る▲八白 計畫の斷行に取掛るべし小を積み大と成る▲九紫 失費多くして入ること少き日愼む可らず

小店員入用　御希望の方は當店迄御出下さい　平驛前　阿部石炭商店　電話三十七番

廣告　大和田醫院　平町南町　電話一七〇番

吉田眼科醫院

三井呉服店の夏衣大賣出し
涼味溢るゝ夏の御召物、京呉服、ジヨゼツト、中形……
全店夏の商品豐富大特賣
…七月一日ヨリ……七日間…

獨特のおつとめ品
本染モスリン着尺 金貳圓五拾錢
パラマウント着尺 金貳圓五拾錢
絽男羽織 金貳圓五拾錢
手拭浴衣地 金七拾錢
名古屋帶（仕立上）金壹圓
ホロかや 金參拾錢
絽丸帶 金參圓五拾錢
絹麻小紋 金參圓
絹ポーラ銘仙 金六圓五拾錢
夏掛フトン仕立上 金壹圓六拾錢

御中元贈答用品大奉仕
御恰好な御値段の商品が豐富に入荷致しました如何樣にも承ります
婦人倶樂部掲載總額壹萬圓大懸賞つき
千代きぬ明石…大賣出し
本染中形陳列會
御贈答に これが一番御重寶な 商品券

雜貨洋品部新設
御子樣方のパンツ、タオル製品、既製品服地などの新製品豐富に取揃へ大奉仕
かや大賣出し
ほろかや、絹、本麻かや、白かやの別選品を大々的大廉賣致します。
三井呉服店　電話 三八・二八四番

時代の要求 皆樣の足!!
尼子タクシーへも豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢　市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行＝直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目　尼子自動車商會　電話六四〇番

品質第一　電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前